

2026-7

MHC 会報



NPO 法人 松本ヒマラヤ友好会

MATSUMOTO HIMALAYA FRIENDSHIP CLUB (略称MHC)



事務所・本部 〒390-0852 松本市大字島立 4539 番地 7

TEL: 0263-47-6197 FAX: 0263-47-5685

E-mail : mhc@lily.ocn.ne.jp <http://www1.ocn.ne.jp/~mhfc/>



2026-7MHC会報

拝 啓

花々が咲く、明るい温かな6月も過ぎ、どんよりとした梅雨空に、暑い夏の訪れを覚悟するこの頃、皆様には、いかがお過ごしでしょうか。

ネパール MHC 奨学生 30 期生 6 人と 31 期生 9 人の計 15 人分(5,000 ルピー/月/1 人)の一年間の奨学金、ヒラリースクール・クムジュン校 MHC 学生寮舎監代、MHC 学生寮電気代補助金、事務局運営経費の総額は、108 万ネパールルピー、日本円から US ドルに換金してからネパールルピーに換金するということもあり外国為替ドル高、円安の為、日本円 140 万円余となり、7 月 6 日 MHC 口座のある八十二銀行からネパールの奨学基金事務局の銀行口座へ送金致しました。MHC 新奨学生 9 人らは正式に大学入学が決まり詳細が送られてきています。

この会報の国際協力事業欄で発表します。皆様のご理解、協力に感謝申し上げます。

ネパール山岳観光になくてはならないシェルパ民族。カーストの身分社会で虐げられているシェルパ族、その子弟たちの社会的地位向上とカトマンズでは身分差別からアルバイトもままならない、彼らの生活の安定を願い支援をしています。

さて、各事業の経過と予定をお知らせ致します。

●これからの各事業について

1、文化交流事業

- ①上高地徳沢ロッジへの物産品、5/11 に納品済、10/30 頃まで展示販売予定。
- ③上高地バスターミナル 2F 会議室特設会場の写真展「上高地の美しい自然」「北アルプスの美しい自然」は、昨年展示作品と差し替え作品 30 点合わせ、展示作品総数 95 点、大好評のうちに今年も 11/15 まで開催中です。



厳冬のクムジュン校の先生たち。防寒上着を身にまとい、集まってくれました。背景はヒラリー一卿の胸像(中央)、MHC 学生寮(左)です。



6/4 の信濃毎日新聞の紹介記事

2F 市営上高地バスターミナル 2F 特設会場、信濃毎日新聞も紹介記事を掲載。四季の上高地や槍穂高岳の講習時の様子、市民参加エベレスト撮影時のパネル写真を、95 作品を展示。

※是非ご来場下さい。上記文化事業-物産・写真展冊子・パネル写真の売上は、国際協力基金に積み立てられ、MHC 奨学金支給及びヒラリースクール・クムジュン校学生寮運営資金に使われます。

※また、上記写真展の写真を取めた小冊子を編集発行しました。この小冊子は、現在県立図書館、市中央図書館でも所蔵され、「上高地の美しい自然と槍穂高連峰&カトマンズ・グリンデルワルト編」改訂版 78P として、展示会場及び MHC 記念館で価格 1000 円にて販売しています。この改訂版冊子は県立長野図書館では、永年保存版に推薦され、高く評価されています。

購入希望は、事務局で、いつでも受け付けています。MHC のホームページでも作品鑑賞(無料)ができます。ご覧ください。



小冊子の表紙部分

④ネパール講座を MHC 記念館で開講します。-姉妹都市カトマンズとヒマラヤ・トレッキング編-入場無料。

「ネパール講座」開催—姉妹都市カトマンズとヒマラヤトレッキングの注意と心得—

主 催 NPO 法人松本ヒマラヤ友好会 TEL47-6197

日 時 令和 8 年 9 月 12 日 (土) PM1:30~3:30

会 場 MHC 活動記念館 1F 展示ホール TEL47-6197 無料駐車場 10 台以上あり

講 師 MHC 理事長 鈴木 雅 則

MHC の鈴木理事長が上記ネパール講座の講師として講演します。是非、講演においでください。

第一部 ネパール・カトマンズの歴史・世界的文化遺産、釈迦の生誕地ルンビニ訪問

第二部 エベレスト及びアンナプルナへのトレッキングの魅力と注意、日本での登山にも役立つ。

松本との姉妹都市ネパール・カトマンズの世界史的な歴史、文化遺産、アジア文化の礎となった釈迦の生誕地ルンビニ訪問、そして 8 回行われた MHC 撮影紀行から、エベレスト・アンナプルナ・トレッキングの魅力をスクリーン映像を駆使して、講演、登山する時の注意と心得についても解説します。



世界遺産スワヤンブナート ルンビニの菩提樹 世界遺産パタン旧王宮前広場と女性 ブーゲンビリヤの花



エベレスト街道を行く 荷を担うゾッキョ 流れるクーンブ氷河と 夕照に輝くエベレスト 朝陽に映えるダウラギリ I 峰

2、山岳スポーツ振興事業・・・別紙パンフレット参照

○6/16 (土) ~6/17 (日) 登山講習ハイキング編「初夏の上高地と乗鞍高原散策」・残雪の穂高と新緑の上高地に、余韻の残る山旅だった。・・・別紙報告書参照。

詳細は、別紙パンフレット参照。宿泊はアルペンホテル、大きな湯船に疲れを癒す。



大正池畔からの穂高岳 河童橋袂にて 宿泊したアルペンホテル バスターミナル 2FMHC 山岳写真展



帝国ホテル玄関口にて 赤いレンゲツツジと乗鞍岳 花々が咲くどじょうの池 つがいのマガモ

● 国際協力事業・・・私達の小さな活動が、大きな国際協力と発展します。

① 寄付金、講演料、文化事業、物産展示販売、そして MHC 登山講習の収益

により積立てられた、国際協力事業基金により、国際協力事業が行われています。

② パサンダワ奨学金事務局長より 2025 年～2027 年 30 期生 6 名と 2026 年～2028 年の MHC 第 31 期生 9 名の大学入学が決まり、31 期生の詳細が送られてきました。現在奨学生は 15 名となります。

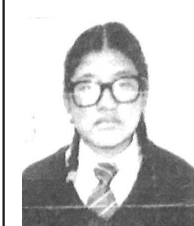
2024 年～2026 年 MHC 第 30 期生 6 名

					
ツェリン・ニジマ・シェルパ 大学名 Kathmandu Model College	アシュミタシュレスタ Patsala Nepal	ドルマ・ツェリン・シェルパ Nami Internation	ソナム・ギャルゼン・シェルパ Nami International	ソナム・タシ・ライ Trinity International College	タシ・ジャンブ・シェルパ Nami International

新奨学生が決まりました。

2026 年～2028 年 MHC 第 31 期生 9 名 新奨学生

					
ダ・パサン・シェルパ Bagmati Boarding Secondary School	ミグマ・ツェリ・シェルパ StLawrence College	ニマ・ナムギャル・シェルパ Jeseph High School	ヌルム・ツェリン・シェルパ Jeseph High School	パサン・カンチ・シェルパ Reliance International Acedemy	プルバ・ナムギャル・シェルパ Jeseph High School

		
タシ・ドルカ・シェルパ Texas International S.S Collegee	チェチン・ジャム・シェルパ Loyalty Academic	ロブサン・サンプ・シェルパ Jeseph High School



建設中の MHC 学生寮



もう一度、ほほえましい、MHC 奨学生らの笑顔の写真載せます

応援してあげてください



エベレスト山麓クムジュン村から、親元を離れ、単身勉学のため、250 km 離れたカトマンズの宿舎へカトマンズの日向で、お茶を飲みあい、ほっと一息する MHC 奨学生たち



シェルパ族は、山岳民族であり、ネパールのカーストでは最下層とされ、アルバイトもままならない状況。そこで、大学教育をしてもらい、社会的地位の向上と、生活の向上になればと願い奨学金を支給している、



ネパール山岳観光になくてはならないシェルパ民族。酸素の薄いヒマラヤでは彼らのサポート無くしては、トレッキングもできません。歴史的なカーストの身分制の中、社会的に虐げられているシェルパ族、その子弟たちの社会的地位向上を願い、クムジュン(中高)校を卒業し、大学入学をした学生を応援しています。

カトマンズでは身分的差別からアルバイトもままならない彼らの大学生活の安定を願い、支援をしています。応援してあげてください



タムセルク 6623mを望みエベレスト街道を行く クムジュン村の朝の水くみ 堂々と立つチョルテン(仏塔) シェルパのお母さん

4、事務局から

ネパール講座を MHC 記念館で開講します。-姉妹都市カトマンズとヒマラヤ・トレッキング編-入場無料。

「ネパール講座」開催—姉妹都市カトマンズとヒマラヤトレッキングの注意と心得—

主 催 NPO 法人松本ヒマラヤ友好会 TEL47-6197

日 時 令和8年9月12日(土) PM1:30~3:30

会 場 MHC 活動記念館 1F 展示ホール TEL47-6197

無料駐車場 10 台以上あり お茶のご用意あります。

講 師 MHC 理事長 鈴木 雅 則

是非
おいで
くだ
さい



MHC
記念館

MHC の鈴木理事長が上記ネパール講座の講師として講演します。是非、講演においでください。

② ネパール・カトマンズの歴史・世界的文化遺産、釈迦の生誕地ルンビニ訪問

③ エベレスト及びアンナプルナへのトレッキングの魅力と注意、日本での登山にも役立つ。

松本との姉妹都市ネパール・カトマンズの世界史的な歴史、文化遺産、アジア文化の礎となった釈迦の生誕地ルンビニ訪問、そして計 8 回行われたヒマラヤ撮影紀行から、エベレスト・アンナプルナ山群を巡るトレッキングの魅力をスクリーン映像を駆使して、講演、登山する時の注意と心得についても解説します。



2011.1/1AM6:30 新雪踏んで
プーンヒル 3194mに14名が
見事登頂。朝陽を拜む。



アンナプルナサウス左 7219mと
ヒウンチュリ右 6441m



マチャプチャレ 6993m



朝陽に輝くダウラギリ I 峰 8167m プーンヒル 3194mから撮影 鈴木雅則

令和 8 年 7 月 7 日

MHC 会員各位

NPO 法人 松本ヒマラヤ友好会事務局
理事長 鈴木 雅則



ゾッキョに荷を載せ、エベレスト街道を、デンボチェ 4300mからロブジェ 4950mに向けて、新雪を踏んで進む 背景の峰(中央)は、カンテガ 6800m 撮影 鈴木 雅則